

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	悪性胸膜中皮腫術後の腹膜播種再発に対する検討 [倫理審査受付番号：第4239号]
研究責任者氏名	長谷川誠紀
研究期間	2022年12月2日 ~ 2023年12月31日
研究対象疾患・診療科名	疾患名：悪性胸膜中皮腫 / 診療科名等：呼吸器外科
研究対象期間	受診日：西暦 2004年7月1日 ~ 2022年9月30日 倫ヒ044「研究課題名：胸腹部腫瘍の長期治療成績に関する分子生物学的研究」（実施期間：2006年3月22日~2020年3月31日）の参加者も対象となります。
研究に用いる試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ()
研究目的・意義	悪性胸膜中皮腫（MPM）は予後不良な疾患であり、集学的治療（術前化学療法+根治手術）後も多くの症例が再発します。よって再発後治療の実施や再発後生存の改善は、MPM全体の成績向上のためには必須です。術後再発例においては大部分が局所（術側の胸腔・胸郭周囲）ですが、一部に腹膜播種再発をきたす症例を散見します。再発後は薬物療法が中心となりますが、腹膜播種再発をきたした場合、腸閉塞や腹水貯留による症状を伴い再発後治療に難渋することが多いです。今回、先行論文のないMPMに対する集学的治療後の腹膜播種再発に関する検討を行い、MPMの成績改善のため、臨床への還元を目的とします。
研究の方法	2004年7月1日から2021年12月31日に当科でMPMに対し集学的治療を行ったうち（倫ヒ044「研究課題名：胸腹部腫瘍の長期治療成績に関する分子生物学的研究」（実施期間：2006年3月22日~2020年3月31日）の参加者も対象となります）2022年9月30日までの再発例を対象とします。初回再発形式としての腹膜播種の有無で二群に分け検討します。カルテ情報を後ろ向きに調査し、臨床情報の収集：診療に用いたデータ（年齢、PS：全身状態、性別、組織型、病期、手術内容、肉眼的完全切除の有無、集学的治療完遂の有無）、診療録の記載（再発例では、再発形式、再発後の治療内容）、検査データ、画像データより情報収集を行います。生存成績、腹膜播種再発の頻度、及び二群間の比較を行い腹膜播種再発のリスク因子を解析します。本研究は、患者様への介入及び侵襲を伴わない、後ろ向きコホート研究になります。上記の情報

	<p>を転記し、分析を行います。転記の際は、個人を識別出来る情報は転記せず、個人情報保護をします。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。匿名化される前までに参加拒否された方のみ、情報の使用を中止することが可能です。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等：兵庫医科大学呼吸器外科 担当者氏名：近藤展行 [電話]（平日9～17時）0798 - 45 - 6885 （上記時間以外） 0798 - 45 - 6111</p>